

# チュンチュン としよだより

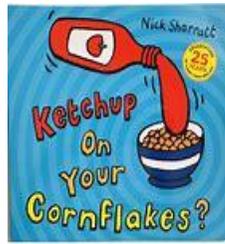


令和6年7月



もうすぐ待ちに待った夏休み。今年は何にチャレンジしますか？長い夏休みこそ、いろいろな本に出会えるチャンスです。各小中学校の図書館はもちろん、市立図書館もぜひ利用してください。夏休みに、ぜひ読んでほしい本を先生がたに紹介して頂きました。どれも素敵な本ばかりです。きっと皆さんの大切な一冊となるでしょう。

## 『ケチャップ オン ユア コーンフレークス Ketchup on Your Cornflakes?』



「Ketchup on Your Cornflakes?」  
Nick Sharratt//作 絵  
Scholastic  
2006.2

私のおすすめは、「Ketchup on Your Cornflakes?」という英語の絵本です。上下に分かれたページをめくり、上下それぞれの文とイラストで121通りもの組み合わせが楽しめる、ユーモアたっぷりの仕掛け絵本です。組み合わせ次第で「頭にカスタードクリームをかけるのは好きですか？」など、とんでもない文ができあがります。私は低学年の読み聞かせてこの本を使ったことがあるのですが、簡単な英語とイラストで理解することができ、子どもたちからは「えー!」「なんだそれ!」と笑い声や悲鳴が上がって大盛り上がりでした。製本の仕方が2種類あり、リングで綴じた方がページをめくりやすいので、さらにおすすめです。

すずめのみやちゅうおうがっこう こうちよう ほそい みちよ  
【雀宮中央小学校 校長 細井 三知代】

## 『あいつもともだち』



「あいつもともだち」  
内田 麟太郎//作  
降矢 なな//絵  
借成社 2004.10

この『あいつもともだち』は、キツネとオオカミのコンビが友達についておおいに悩む「おれたち、ともだち!」シリーズの7作目です。春まで冬ごもりをする友達にお別れの挨拶をしたキツネでしたが、ヘビには、「きみも元気でね。」と言いそびれてしまい、お別れの挨拶ができなかったことを思い悩んでしまいます。冬の間、ヘビのことを思いやるキツネ。その優しさが伝わってきて心が温まり、読み終わった後、友達に会いたくなる素敵なお話です。絵も味わいがあり、次々に変わるおしゃれなキツネの洋服も見逃せません。

ぜひ手に取って、友達を思うキツネの心に触れてみてください。

すずめのみやひがししょうがっこう こうちよう にいむら かずよ  
【雀宮東小学校 校長 新村 和代】

先生がたが 子どもたちに読んでほしい本



## 『冒険者たち ガンバと15匹の仲間』



「冒険者たち  
ガンバと15匹の仲間」  
斎藤惇夫//作  
数内正幸//画  
岩波書店 1982.1

小学校の時に会って以来、大人になっても何度も読み返し、その度に感動する本を紹介します。アニメや劇団四季のミュージカルでも知られる「ガンバの冒険」の原作です。海にあこがれるドブネズミのガンバは、島のネズミたちを助けるために、15匹の仲間と共に海の向こうの夢見が島へと旅立ちます。恐ろしいノロイが率いるどう猛なイタチの群れに対し、ありったけの知恵と勇気で立ち向かうガンバたち。何度もくじけそうになりながらも、仲間との絆を信じて諦めずに、文字通り命がけて戦い続けるガンバと仲間たちの戦いから、最後まで目が離せません。高学年から中学生向けの少し(かなり?)長めのお話ですが、今年の夏休み、あなたもガンバたちと一緒に冒険の旅に出かけてみませんか?

すずめのみやみなみしょうがっこう こうちよう いとう としこ  
【雀宮南小学校 校長 伊藤 敏子】

## 『14匹のあさごはん』



「14匹のあさごはん」  
いわむらかずお//作 絵  
童心社 1983.7

みなさんは、森の中で動物たちがどのように暮らしているか想像したことはありますか?この本は14匹のねずみの家族が主人公で、家族の朝の様子が描かれています。朝ねぼうする子がいたり、みんなで野いちごつみにいったり、どんぐりでパンを作ったりと、彼らの暮らしがいきいきと描かれ、森の中の生活を想像させてくれます。ぜひ、この本を読んでから森に行ってみてください。動物たちの暮らしを想像しながら森の中を歩けば、違った世界が見えてくると思いますよ。また、作者のいわむらかずおさんは栃木県在住の作家で、那珂川町には、「いわむらかずお絵本の丘美術館」があります。本を読んでから行ってみてください。

すずめのみやちゅうがっこう ふくこうちよう きねぶち たけし  
【雀宮中学校 副校長 杵渕 壮】